



表紙:スパコン「京(けい)」(提供:理化学研究所)



精進湖より富士山(山梨)(提供:鈴木宏記)



上: UCLA 内のコーヒーショップ前にて(提供:古川博康), 中: Caltech 内のアインシュタインが滞在したホテル(提供:川島康豊), 下: ETH Zurich Science City キャンパス(提供:坂本純二)

001 **巻頭言** 元素戦略: 歴史観・世界観に裏打ちされた科学研究
中村栄一

005 **論説** 中国の化学工業の高度化に日本は積極的関与を
吉田浩二
中東の石化産業戦略と日本の取り組み
武田 眞

009 **OVERVIEW** 世界一の計算性能
「京」は化学に何をもたらすか

014 **特集** 海外で活躍する若手研究者

研究のさらなるボーダレス化が進む中、日本人研究者が国外にポストを求める機会が今後ますます増加することが予想される。本特集では、米、欧、アジア、そして国際機関で活躍する若手研究者に、その仕事環境について執筆いただいた。

[担当: 務台・佐々木(万)]

- 1 アメリカで研究するならば
——研究留学の意義を最大化するために覚えておきたい幾つかのこと
古川博康
- 2 「アウェイゲーム」を楽しむ
——ヨーロッパでの研究生活を考えておられる皆様へ
坂本純二
- 3 企業からの研究留学——カリフォルニア工科大学での経験を通じて
川島康豊
- 4 私の見た台湾の大学における教育・研究環境
——キャリアパスとしての台湾
三浦篤志
- 5 国連宇宙部とウィーンの宙(そら)
——人類初の宇宙飛行から半世紀—国連宇宙応用プログラムと
新たな取り組み
落合美佳

029 **私の自慢** 光化学から生命と環境に係わる光科学への展開
——研究は自由な環境で育つ
佐々木政子

042 **Opening Article** Element strategy: scientific research backed by a world and historical view
Eiichi NAKAMURA

043 **Commentary** Japan should actively contribute to the technical advancement of China's chemical industry
Koji YOSHIDA
Middle Eastern petrochemical industry strategy and Japan's role
Makoto TAKEDA

平成 23 年度化工誌編集委員会

委員長:西郷和彦 理事:佐々木俊夫

委員:獨古 薫 / 松見紀佳 / 務台俊樹 / 山崎友紀 / 植村卓史 / 小佐野康子 / 蟹江澄志 / 中野幸司 / 中村 聡

幹事委員:岡村 寿 / 大越慎一 / 宮崎あかね / 小島英理 / 立間 徹 / 土岐育子 / 板垣 誠

★化工誌記事についてのお問合せ E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

デザイン (株) マツダオフィス

-
- 032 化学会発
第 1 回 CSJ 化学フェスタ—世界化学年記念大会—を終えて 多田啓司
- 034 支部だより
青森地区弘前地域の活動 東北支部
第 42 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会 東海支部
農業の安全性—農業研究者の雑感— 近畿支部
おもしろワクワク化学の世界 '11 香川化学展 中国四国支部
- 038 部会だより
乳化系 (エマルション) の最近のトレンドについて コロイドおよび界面化学部会
- 039 BCSJ 賞/CL
- 040 CCI サロン
ケミストの趣味 千葉泰久
- 041 編集後記
-
- 047 会告 (次号予告)
- 048 お知らせ
行事一覧
講習会・講演会
研究発表会——発表募集
研究発表会——プログラム
-
- 086 掲示板
- 087 求人・求職
- 090 執筆の手引き
- 091 日本化学会編集の刊行物
- 次頁 広告索引・広告資料請求用紙 (ご活用下さい)

